

さいしょ れんしゅう 最初とポンの練習

これから ^{みじか} 短い ^{ぶんしよ} 文書 ^よ を ^あ 読み上げます。よく ^き 聞いて、それぞれの ^{ぶんしよ} 文章の ^{さいしょ} 最初の ^{ことば} 言葉を ^{おぼ} 覚え、〔 〕 ^か に ^か 書きましょう。1～5 は2つ、6～10 は3つの ^{ぶんしよ} 文章 ^よ を ^よ 読みます。ただし、^{ぶんしよ} 文章 ^{なか} の ^{なか} 中に ^{どうぶつ} 動物 ^{なまえ} の ^で 名前 ^で が ^で 出てきたら ^て 手を ^た たたきましょう。

2つの ^{ぶんしよ} 文章 ^{れい} の例

あわてん坊 ^{ぼう} の キツネ ^{ぬす} が盗 ^{ぬす} みました。

ちい ^{いえ} 小さな ^{まわ} 家の 周り ^{いっしょ} を サル ^{さが} と ^{さが} 一緒に ^{さが} 探 ^{さが} しました。

こた
答え

〔 あわてん坊 ^{ぼう} 〕〔 ちい ^{ちい} 小さな 〕

れんしゅう
練習

こた
答え

〔 〕〔 〕
〔 〕〔 〕
〔 〕〔 〕〔 〕
〔 〕〔 〕〔 〕

練習用例文

- ① サルは外に出ました。
森はシーンと静まっていました。
- ② 何も音がしません。
金色の風が吹くまでサルは寝ていました。
- ③ イヌも寝ているのです。
早く魔法の杖を探さなくてははいけません。
- ④ すると銀色の風が吹きました。
木や花がウサギたちの目を覚まさせました。
- ⑤ そうしなければこの森に春は来ません。
なぜならこの森にはネコがいるのです。
- ⑥ ネコが森をつくってからずっとです。
そのためには金色の風を吹かせるのです。
杖を預かっているのは黒い夕又キでした。
- ⑦ 林の中を飛び回って探していました。
なくした杖をリスが探していました。
おばあさんは無理だと言いました。
- ⑧ すっかり退屈しました。
赤色の風はいつ吹くのかとネズミが言いました。
スズメのなく声も小さく聞こえます。
- ⑨ ちゃんと準備ができています。
わたしは初めて春が来るのを知りました。
お母さんがサルに向かって言っていました。
- ⑩ 桜の木の兄弟はあそこに住んでいます。
小さなリスの家の近くには夕又キもいます。
とっても熱い風が吹いて来ました。